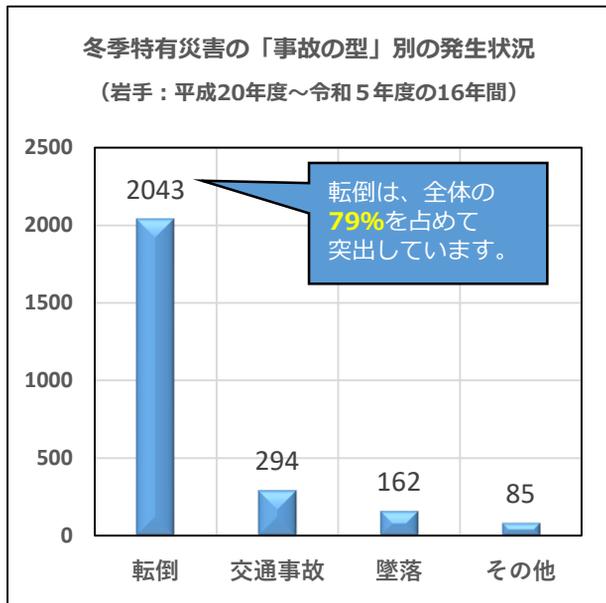


# 冬季の転倒災害を防止しましょう！

- 令和6年12月1日～令和7年1月31日は、いわて年末年始無災害運動
  - 令和6年12月1日～令和7年2月28日は、冬季転倒災害防止対策強化期間
  - 令和6年11月21日～令和7年2月28日は、冬季死亡災害ゼロ100日運動
- が展開中です

1. 転倒災害は、冬季災害の中でも突出して最も多く発生しています。  
また、冬季の転倒による死亡労働災害も、毎シーズン、全国で発生しています。

↓ 死傷労働災害(休業4日以上)の発生数(岩手)



↓ 死亡労働災害事例(全国) (一部)

- ① 徒歩でフリーペーパーの配達作業中、凍結した状態で雪がうっすら積もった玄関前の傾斜で足を滑らせ転倒し、翌日死亡した。【令和5年度 北海道】
- ② 徒歩で新聞配達中、坂道を下ったところ、道路が凍結していたため、転倒し、約11時間後に死亡した。【令和5年度 山形】
- ③ 荷の配送先の駐車場で、運転してきた2tトラックの前方で倒れているところを近隣の者に発見された。屋外駐車場の路面が凍結しており、滑って転倒したものと推定される。【令和4年度 北海道】
- ④ 出勤のため、敷地内の駐車場から事務所に向かって歩いていたところ、前日に降った雪と路面の段差で足を滑らせて後方に転倒した。(災害発生から13日後に死亡) 【令和3年度 福島】
- ⑤ 休憩時間中に敷地内の屋外通路を歩行中、凍結・積雪した路面で足を滑らせ転倒した。(災害発生から8日後に死亡) 【令和3年度 岩手】
- ⑥ 宿直室内で意識不明の状態で見られた。被災者は警備中に、凍結路面で転倒し、地面に後頭部を打ち付けたものと思われる。(意識は戻らず6ヶ月に死亡) 【平成31年度 福島】
- ⑦ 屋外分別ゴミ保管所にゴミを持って行く途中凍結積雪路面に仰向けに倒れているところを発見された。【平成29年度 埼玉】
- ⑧ 事業者の運営する飲食店での業務を終え、同事業者の所属事業場へ徒歩で移動中、凍結路面上で倒れているところを通行人に発見された。(災害発生から2日後に死亡) 【平成29年度 岩手】

## 2-A. 「いわて年末年始無災害運動」のリーフレットで示されている災害防止のポイント事項

- 事業場の敷地図等に積雪・凍結しやすい場所を記入した転倒危険マップ等を作成・掲示し、転倒リスクの見える化を図る。
- 事務所・工場等の出入口付近、駐車場、通路、作業箇所の積雪・凍結防止のための囲いの設置、除雪、融雪措置の徹底。
- 工事現場の外部足場、事業場建屋の外階段等の雪の吹き込み防止用ネット等の設置。
- 滑り難い靴等の着用徹底。
- 作業時のヘルメットの着用。

## 2-B. 「冬季転倒災害防止対策強化期間」の災害防止のポイント事項

- 1 安全委員会等における転倒災害防止に係る調査審議
- 2 職場巡視等による転倒災害防止対策の実施(定着)状況の確認
- 3 気象情報の活用によるリスク低減の実施
  - (1)大雪、低温に関する気象情報を迅速に把握する体制の構築
  - (2)警報・注意報発令時等の対応マニュアルの作成、関係者への周知
  - (3)気象状況に応じた出張、作業計画等の見直し
- 4 通路、作業床の凍結等による危険防止の徹底
  - (1)屋外通路や駐車場における除雪、融雪剤の散布による安全通路の確保
  - (2)事務所への入室時における靴裏の雪、水分の除去、凍結のおそれのある屋内の通路、作業場への温風機の設置等による凍結防止策の実施
  - (3)屋外通路や駐車場における転倒災害のリスクに応じた「危険マップ」の作成、関係者への周知
  - (4)凍結した路面、除雪機械通過後の路面等における荷物の運搬方法、作業方法の見直し
- 5 労働者への対応など
  - (1)防滑靴やプロテクター等の着用の推進
  - (2)転倒災害防止のための安全な歩き方の指導・励行
  - (3)転倒予防体操の励行



# 冬の歩き方（転倒災害の防止のために）

冬季は、凍結や積雪により転倒の危険が高くまる時期です。除雪や融雪剤散布といったことも当然必要になってきますが、中には、職場の管理外の場所（例えば公道）を移動することもあり、除雪等しても時間の経過で環境が戻ったり、気象状況は日々異なったり、人それぞれ違う場所にいるなど、確実な管理が行いにくいとも思われます。

転倒防止の視点（種類）にもさまざまありますが、「歩き方」のポイントを全労働者に知識付与（安全教育）してあげることも効果があります。インターネットで検索してもさまざま機関などで紹介されているようですが内容は概ね同じようです。

ぜひ、安全な歩き方を意識して、この冬を安全に乗り越えましょう。



## ～ 安全な歩き方の例 ～

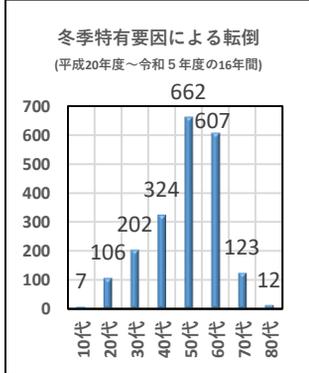
- 歩幅は小さく
- すり足で
- 靴の裏全体をつけて（体重は足全体にかける）
- ゆっくりと
- 腰を落とし気味でひざを曲げて
- 両手でバランスを意識して
- 滑りにくい靴を履く



など

## (参考2) 冬季の転倒災害は、年齢の増加に比例して発生も増加

↓ 死傷労働災害(休業4日以上)の発生数(岩手)



- ➡ 足腰、身体の柔軟性、体幹の強化を進め、転倒回避力を高めましょう
- ➡ 年齢に応じた対策強化にも配慮しましょう

(保護用品、作業内容など)



## (参考3) 滑りにくい靴

ピン・金具付きの靴底	深い溝のある靴底
<p>靴底に付いた金属のピンや金具が氷を引っかき、突き刺して滑りを防ぎます。脱着可能な靴用アタッチメントタイプもあります。</p> <p><b>【注意点】</b> カーペット等に金具やピンが引っかかってつまづいたり、タイル等の床で滑ってしまう危険があります。</p>	<p>グリップ力が強いいため、滑りにくくなっています。溝が浅くなるとグリップ力が低下するので溝の点検も重要です。</p> <p><b>【注意点】</b> 溝が深くても靴底が固いと「つるつる路面」では滑りやすく、また、溝に雪が詰まると滑りやすくなります。</p>

## (参考4) 厚生労働省の『見える』安全活動コンクール

### の優良事例（平成26年度）

### 凍結状況の見える化

#### 【課題】

夜間の冬場の作業船場は、凍結しているのが分かりにくい。

#### 【対策】

通常夜間時は白色に同期点滅し、外気温が2℃以下になると青色に同期点滅するソーラー式視線誘導標「サーモアイ」を作業船の外周手すりに取り付けた。夜間でも交番上の凍結等が判断可能となり、転倒、海中転落の役に立った。



通常時点滅色(白色)

2℃以下時点滅色(青色)



## (参考5) 転倒危険マップ



《盛り込む内容の例》

- 圧雪状態の道
- 建物の影で凍った地面
- 傾斜
- 階段
- 車の乗車場所
- 車の出入りのある場所
- 駐車場から出入口の間
- 荷物の運搬場所
- 過去の転倒場所
- 照明の無い場所

など